

本書の特徴

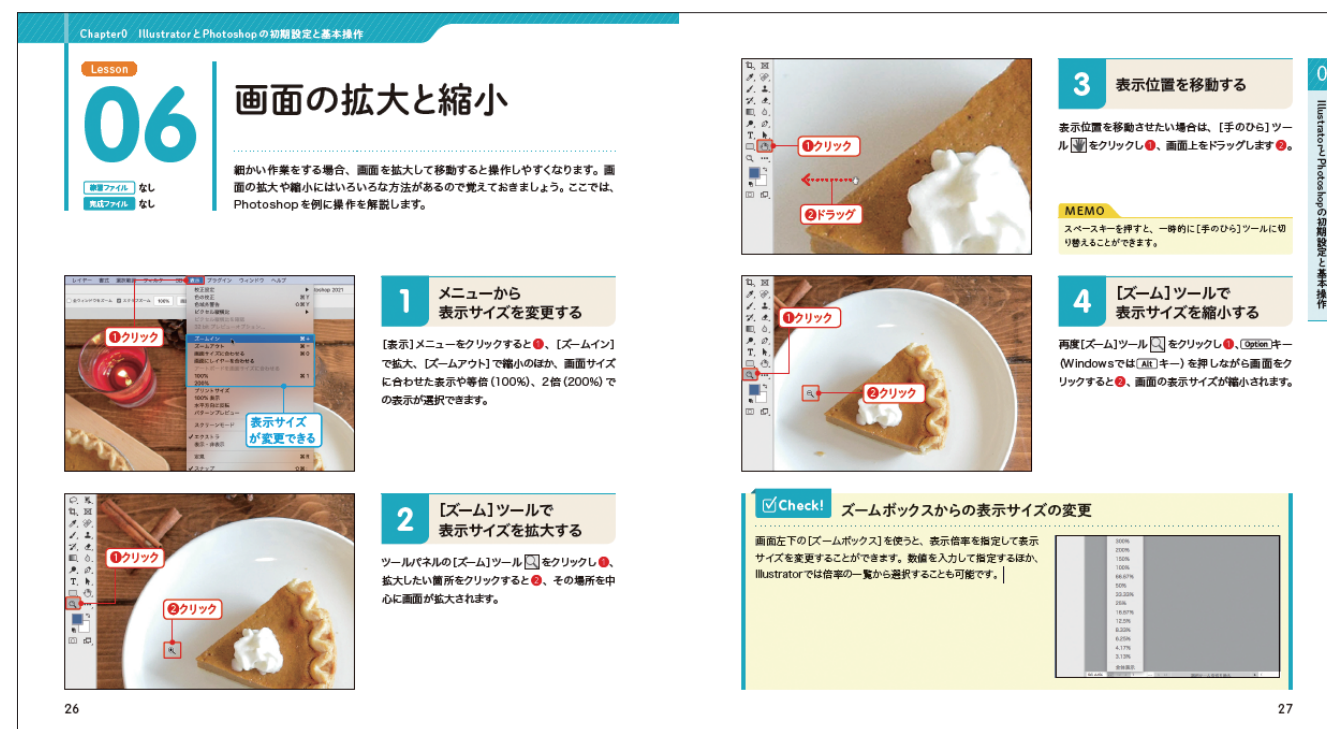
- 最初から通して読むことで、Illustrator と Photoshop の体系的な知識・操作が身につきます。
- 各章で制作したパーツを使い、最後の章でレイアウトして 1 つの作品に仕上げることができます。
- 練習ファイルを使って部分的に学習することもできます。

本書の使い方

本文は、**1**、**2**、**3**…の順番に手順が並んでいます。この順番で操作を行ってください。

それぞれの手順には、**①**、**②**、**③**…のように、数字が入っています。

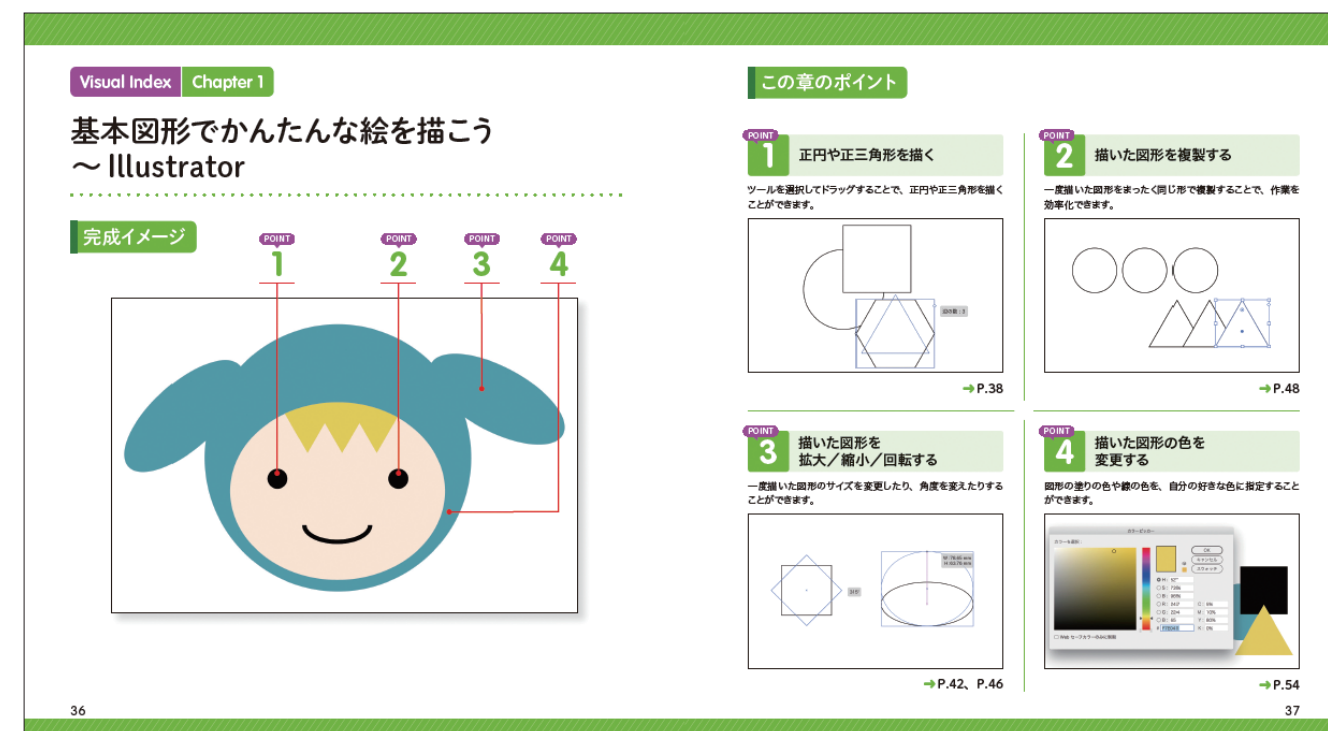
この数字は、操作画面内にも対応する数字があり、操作を行う場所と、操作内容を示しています。



Visual Index

具体的な操作を行う各章の頭には、その章で学習する内容を視覚的に把握できるインデックスがあります。

このインデックスから、自分のやりたい操作を探し、表示のページに移動すると便利です。



◆ 免責

本書に記載された内容は、情報の提供のみを目的としています。したがって、本書を用いた運用は、必ずお客様自身の責任と判断によって行ってください。これらの情報の運用の結果、いかなる障害が発生しても、技術評論社および著者はいかなる責任も負いません。また、ソフトウェアに関する記述は、特に断りのない限り、2021年4月現在のWindows/Mac用の最新バージョン (Illustrator v25.2.1、Photoshop v22.3) を元としています。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があり、本書での説明とは機能内容や画面図などが異なってしまうこともあり得ます。本書ご購入の前に、必ずバージョンをご確認ください。また、ソフトウェアは必ずご自分でご用意ください。

以上の注意事項をご承諾いただいた上で、本書をご利用願います。これらの注意事項に関わる理由に基づく、返金、返本を含む、あらゆる対処を、技術評論社および著者は行いません。あらかじめ、ご承知おきください。

◆ 商標

Adobe Illustrator CCおよびAdobe Photoshop CCは、Adobe Inc. (アドビ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他、本文中に記載されている会社名、団体名、製品名などは、それぞれの会社・団体の商標、登録商標、商品名です。なお、本文中に™マーク、®マークは明記しておりません。

Lesson

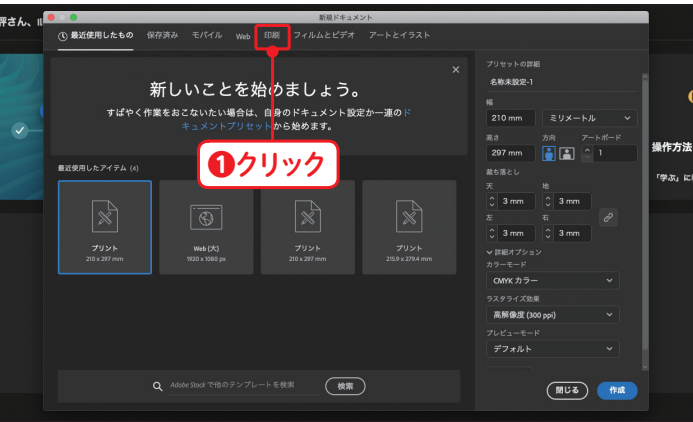
02

練習ファイル なし
完成ファイル なし

新規ドキュメントの作成

IllustratorとPhotoshopでは、先に新規ドキュメントを作成しておくことで、作業環境の細かな設定がしやすくなります。まずは、ドキュメントの作成方法について見ていきましょう。

● Illustrator の場合

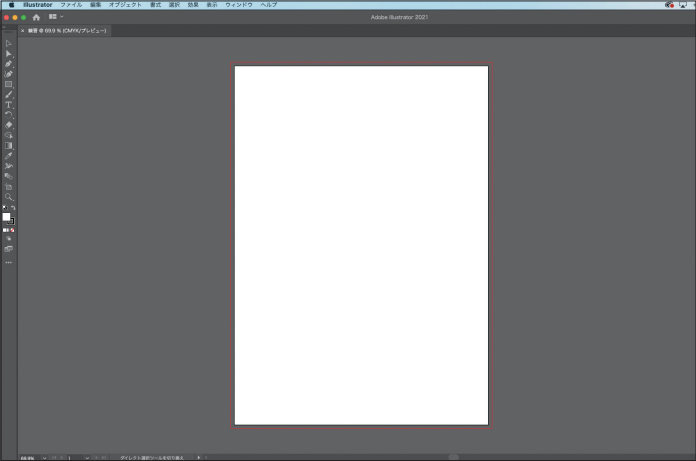
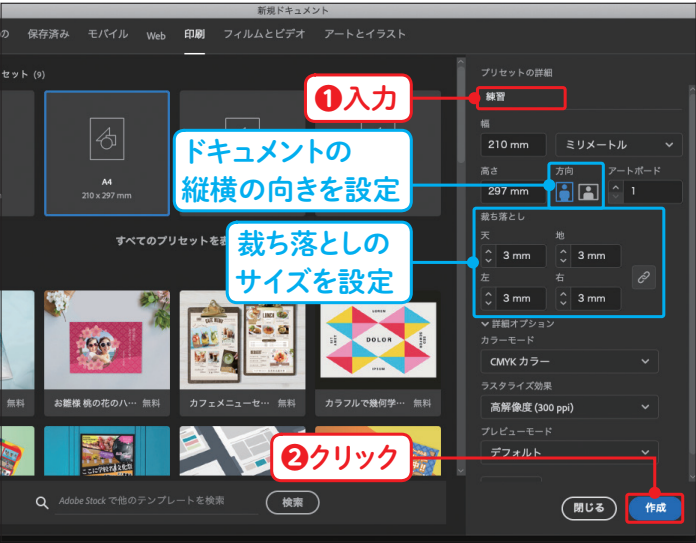
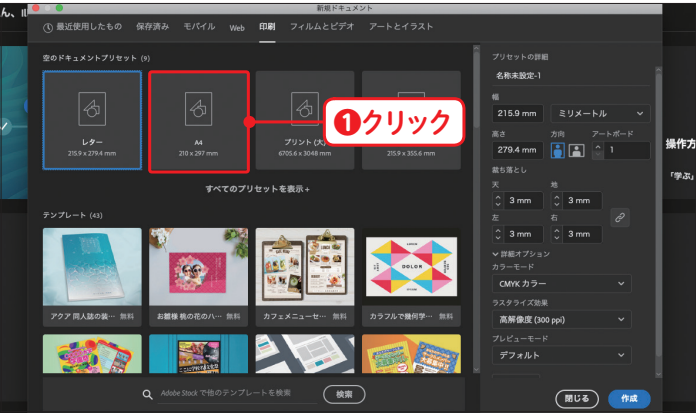


1 [新規作成] ボタンをクリックする

Illustrator起動後に表示されるホーム画面で[新規作成] ボタンをクリックします①。

2 [印刷] をクリックする

[新規ドキュメント] ダイアログボックスが表示されました。ここで、利用用途に応じてドキュメントの設定をしていきます。ここでは、[印刷] タブをクリックします①。



3 [A4] をクリックする

[印刷] タブの内容が表示されました。よく利用されるサイズがあらかじめ設定されているので、ここでは、[A4] をクリックします①。

4 ドキュメントに名前を付けて作成する

右側の[プリセットの詳細] 欄に、A4サイズのドキュメントに関する情報が表示されました。[名称未設定-1]と表示されている欄の文字をすべて消して「練習」と入力し①、右下の[作成] ボタンをクリックします②。

MEMO
そのほかにも、[方向] でドキュメントの縦横の向き、[裁ち落とし] で裁ち落としのサイズ、[詳細オプション] でカラーモードや解像度を設定することができます。

5 新規ドキュメントが作成された

ここまでの操作により、印刷用のA4サイズ、縦位置のドキュメントが作成されました。

MEMO
初回操作時、画面に説明用のアニメーションが表示されることがあります。

Lesson

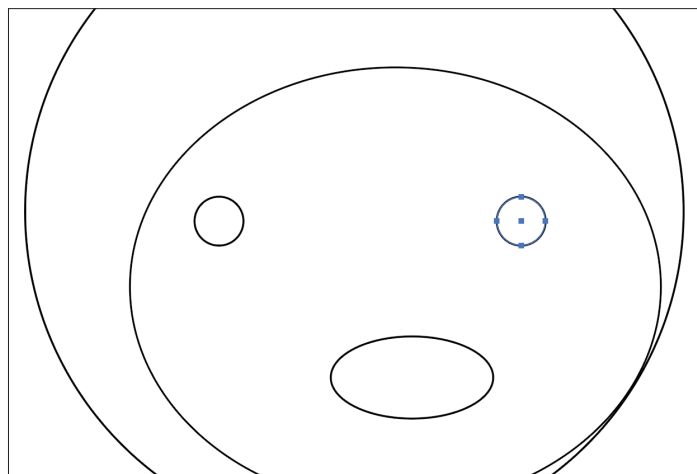
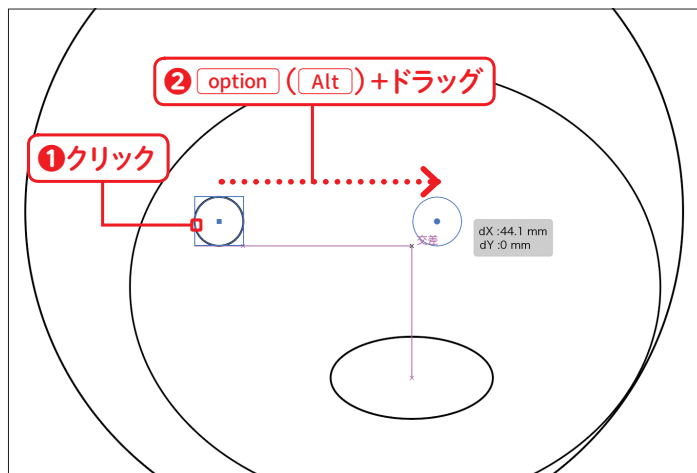
06

練習ファイル 0106a.ai

完成ファイル 0106b.ai

図形を複製しよう

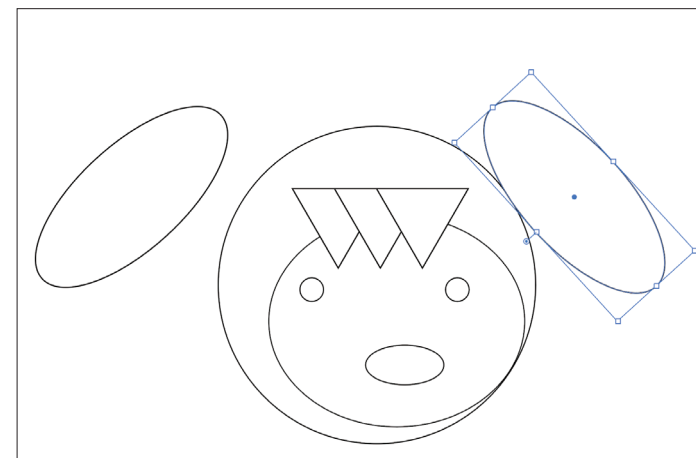
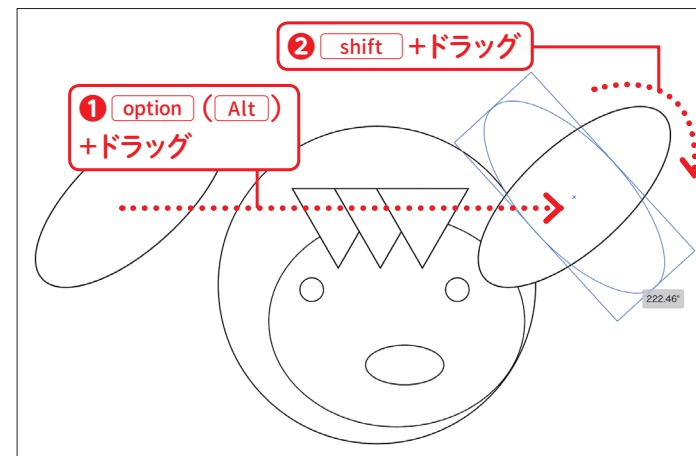
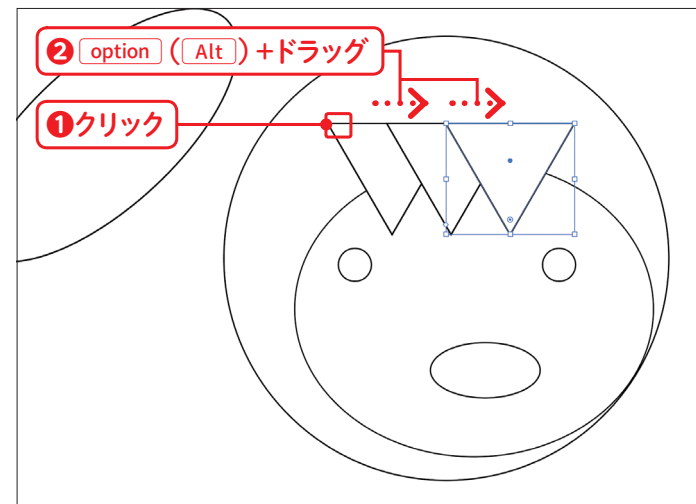
ここでは、一度描いた図形をドラッグ操作で複製する手法について学びます。
今回の作例では、キャラクターの目と耳と前髪のパーツを複製してみます。

1 [選択] ツールを使って
図形を複製する

P.22を参考に[選択]ツール  をクリックし、一番小さな正円(目のパーツ)をクリックして**1**、**option** キー (Windowsの場合は **Alt** キー) を押しながら右方向にドラッグします**2**。

2 複製したい場所で
マウスから手を離す

図のような位置でマウスから手を離し、続いて **option** キー (Windowsの場合は **Alt** キー) から手を離すと、正円が複製されます。



3 正三角形を2つ複製する

次に、正三角形を2つ複製します。正三角形をクリックし**1**、**option** キー (Windowsの場合は **Alt** キー) を押しながら右方向にドラッグします**2**。これを2回行い、合計3つにします。

MEMO

図を参考に、3つの正三角形がキャラクターの前髪になる位置に複製します。

4 細長い楕円を複製して
回転する

細長い楕円(耳のパーツ)を同様の方法でドラッグして複製し**1**、P.46を参考に180度回転します**2**。

MEMO

複製した耳のパーツは右側が下がった斜めにしましょう。

5 3種類のパーツの
複製が完了した

ここまでの操作で、目のパーツ(小さな正円)、耳のパーツ(細長い楕円)、前髪のパーツ(正三角形)を複製する操作が完了し、キャラクターの顔の雰囲気ができあがってきました。

Lesson

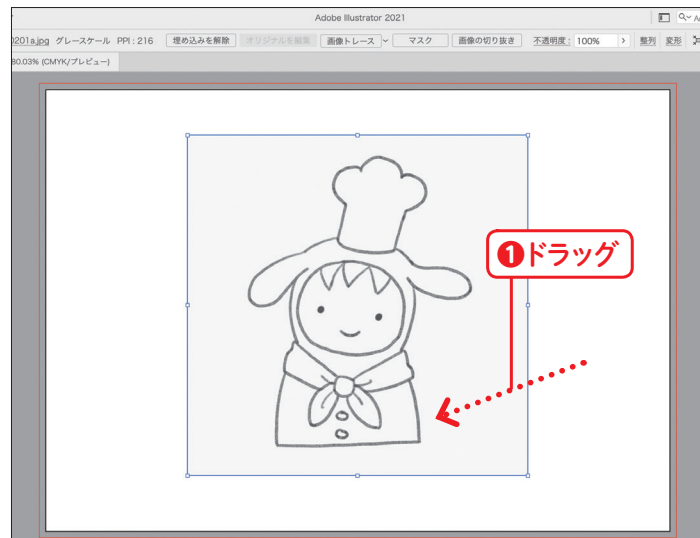
02

練習ファイル 0202a.ai

完成ファイル 0202b.ai

下絵に線画を描くための
レイヤーを追加しよう

ここでは、配置した写真が作業中にずれてしまわないようにロックし、線を描くための新しいレイヤーを追加する方法を練習してみます。



1 写真の位置を調整する

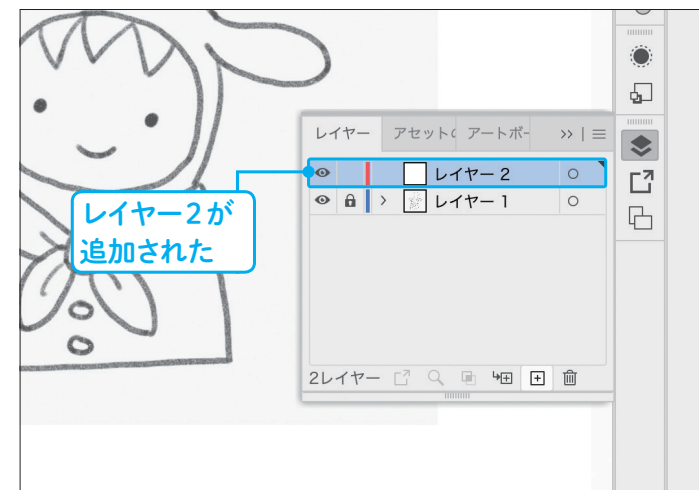
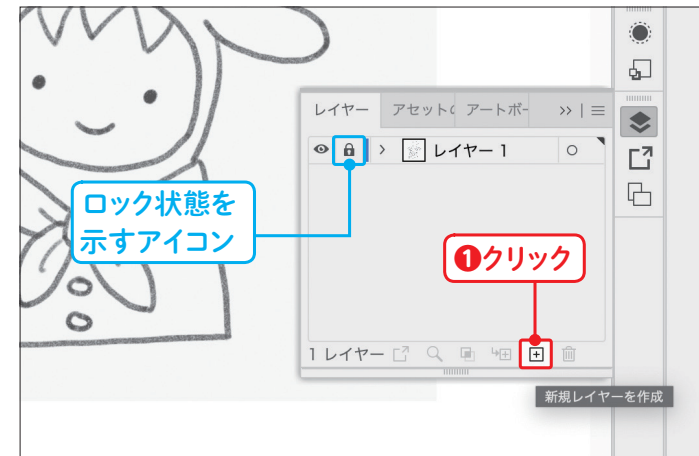
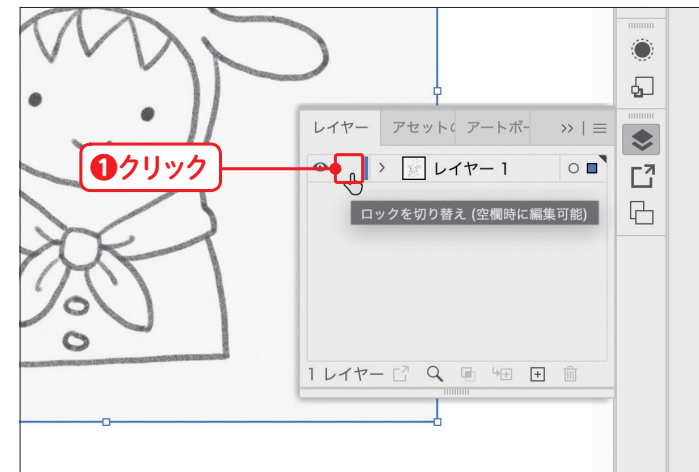
下絵写真をロックする前に、位置を調整しておきましょう。P.42を参考に[選択]ツール  で写真をクリックして選択し、アートボードの中央あたりにドラッグして移動します ①。

MEMO

配置した写真のサイズがおかしい場合は、バウンディングボックスのハンドルを使って、サイズも変更しておきましょう。

2 [レイヤー] パネルを開く

画面右側のパネルアイコンから、[レイヤー] パネルのアイコン  をクリックします ①。



3 [レイヤー 1] をロックする

[レイヤー] パネルの中に [レイヤー 1] があり、その中には下絵写真が配置されています。レイヤー名の左側にある空白をクリックします ①。

MEMO

ロックを解除したい場合には、同じ箇所を再度クリックします。

4 [新規レイヤーを作成] ボタンをクリックする

レイヤー名の左側に南京錠のアイコン  が表示され、レイヤーがロックされました。続いて、[新規レイヤーを作成] ボタン  をクリックします ①。

5 [レイヤー 2] が追加された

[レイヤー] パネルの中に [レイヤー 2] が追加され、線を描くための新しいレイヤーが追加されました。

MEMO

「レイヤー」とは、ひとつの Illustrator ドキュメントの中に複数の透明なシートを重ねて描画できる仕組みのことです。レイヤーの重ね順は何回でも変更可能で、不要なレイヤーは削除することもできます。

Lesson

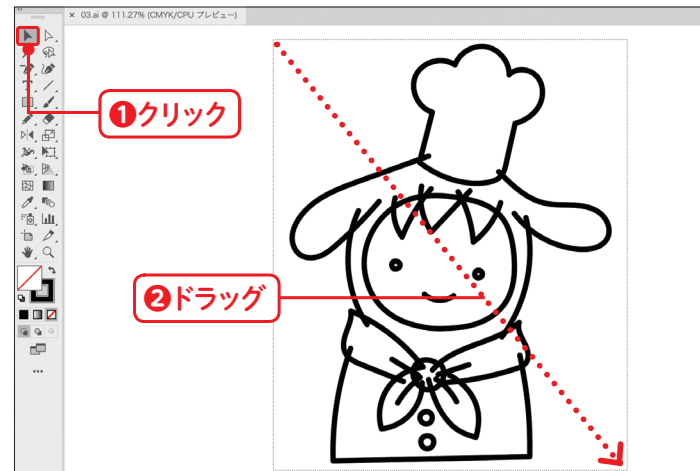
02

練習ファイル 0302a.ai

完成ファイル 0302b.ai

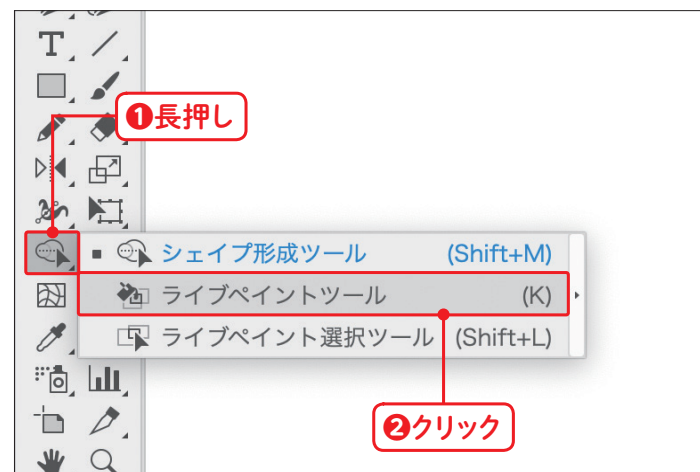
[ライブペイント]ツールを使って線画に色を塗ろう

次のステップとして、[スウォッチ]パネルに登録された色と[ライブペイント]ツールを利用して、線画に色を流し込んでいきましょう。



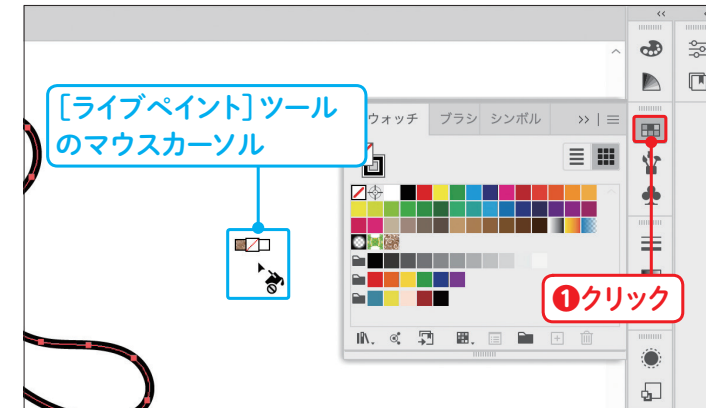
1 線画をすべて選択する

[ライブペイント]ツールを使う前に、色を流し込みたい線画をすべて選択しておく必要があります。[選択]ツール  をクリックし **1**、線画をすべて囲むようにドラッグして選択します **2**。



2 [ライブペイント]ツールを選択する

選択したら、ツールパネルの[シェイプ形成]ツール  を長押しして **1**、[ライブペイント]ツール  をクリックします **2**。



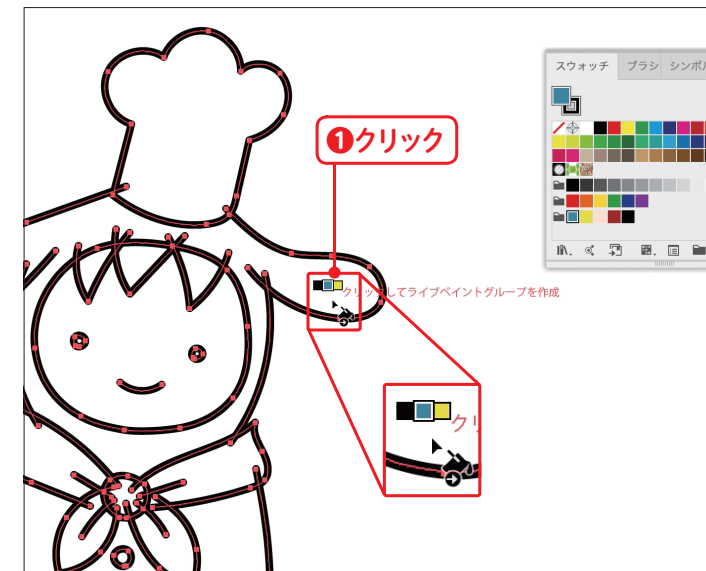
3 [スウォッチ]パネルを開く

[ライブペイント]ツール  が選択され、[ライブペイント]ツールのマウスカーソルが表示されました。流し込む色を選択するため、[スウォッチ]パネルのアイコン  をクリックして開きます **1**。



4 利用する色を選ぶ

P.76で追加したテーマ「こいぬカラー」の一番左側にある、青灰色の四角形をクリックします **1**。



5 流し込む箇所をクリックする

マウスカーソル上にある四角形の中央部分に、選択した色が表示されました。クリックした箇所にこの色を流し込むことができます。耳の内側をクリックします **1**。

MEMO

[ライブペイント]ツールのマウスカーソル上に表示された3つの四角形は、スウォッチパネル内部の色と連動しています。中央の四角形が現在選択している色、左右の四角形はその両隣の色です。

Lesson

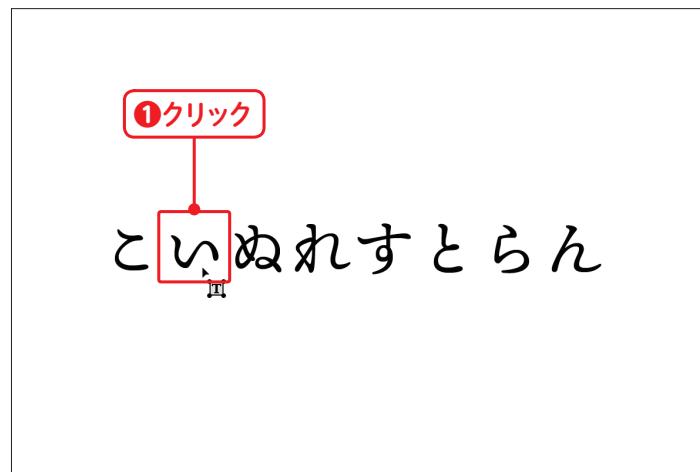
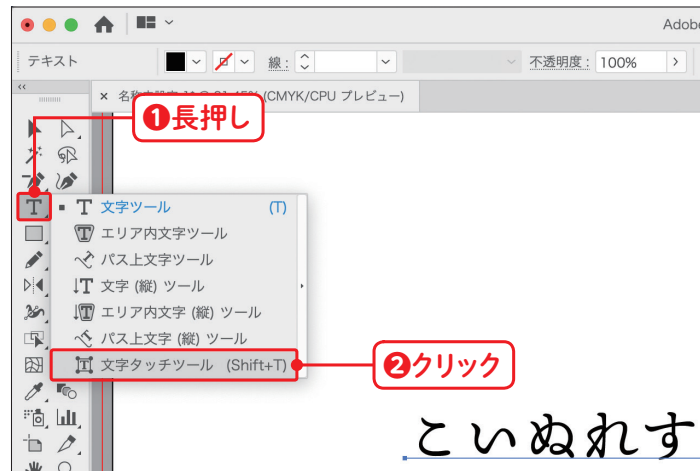
04

練習ファイル 0404a.ai

完成ファイル 0404b.ai

文字を図形に変換して
ロゴタイプにしよう

ここでは、[文字タッチ] ツールを使って文字を自由な位置に並べ替え、大きさも変更して、動きのあるロゴタイプに仕上げていきます。

1 [文字タッチ] ツールを
選択する

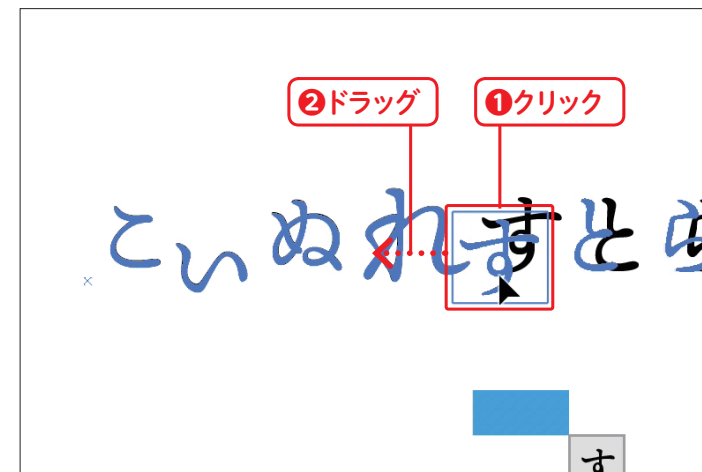
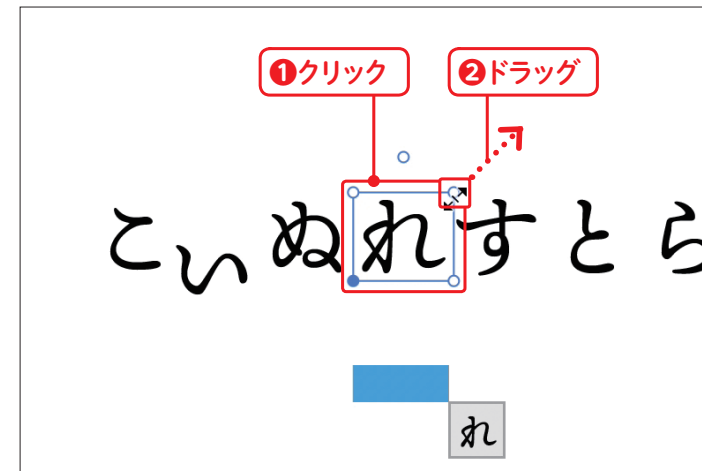
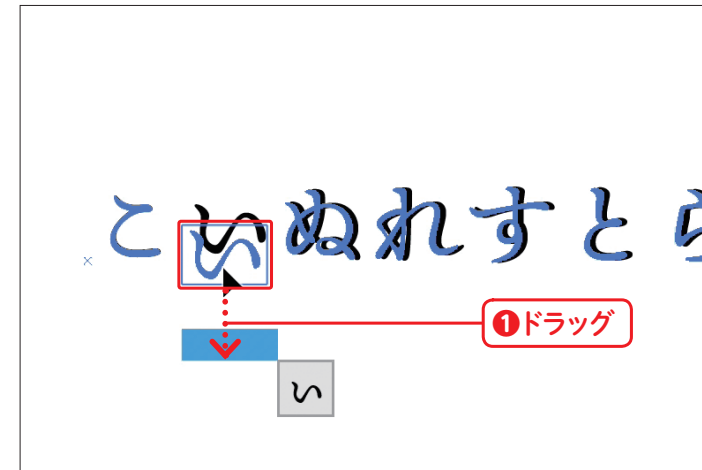
ツールパネルの[文字] ツール  を長押しし **1**、[文字タッチ] ツール  をクリックします **2**。

MEMO

[文字タッチ] ツール  が表示されない場合は、P.20を参考にワークスペースを[初期設定(クラシック)]にしてください。

2 動かしたい文字を
クリックする

文字列の中の「い」の字の中央あたりをクリックします **1**。



3 文字の位置を変える

「い」の字の周囲にバウンディングボックスが表示され、選択された状態になりました。文字の中央あたりをつかんで、少し下のほうにドラッグします **1**。

4 文字の大きさを変える

「い」の字が下に移動しました。次は「れ」の字の大きさを変えてみます。「れ」の字をクリックして選択し **1**、バウンディングボックスの右上のハンドルを右斜め上方向にドラッグします **2**。

5 文字間を詰める

「れ」の字が大きくなりました。次は、文字と文字の間を詰めてみましょう。「す」の字をクリックして選択し **1**、図を参考に「れ」の字のほうにドラッグして近づけます **2**。

Lesson

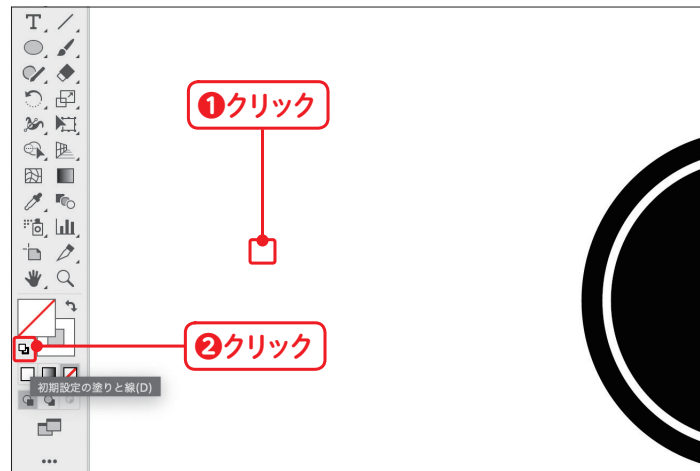
02

練習ファイル 0502a.ai

完成ファイル 0502b.ai

前の図形で後ろの図形を型抜きしよう

ここでは、フライパンの柄の部分を描く過程で、長方形の角を丸めたり、1つの図形で別の図形を型抜きしたりする方法を学びます。

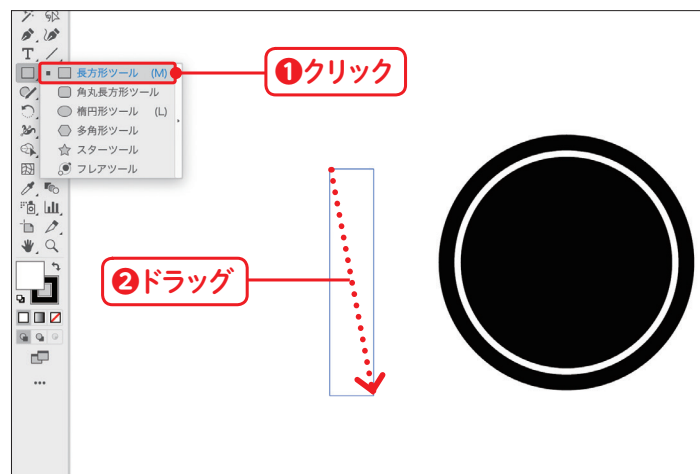


1 色の設定をリセットする

次の作業を行う前に色を初期設定に戻しておきます。図を参考に、何もない箇所をクリックして選択を解除し①、ツールパネル左下にある[初期設定の塗りと線]ボタン②をクリックします②。

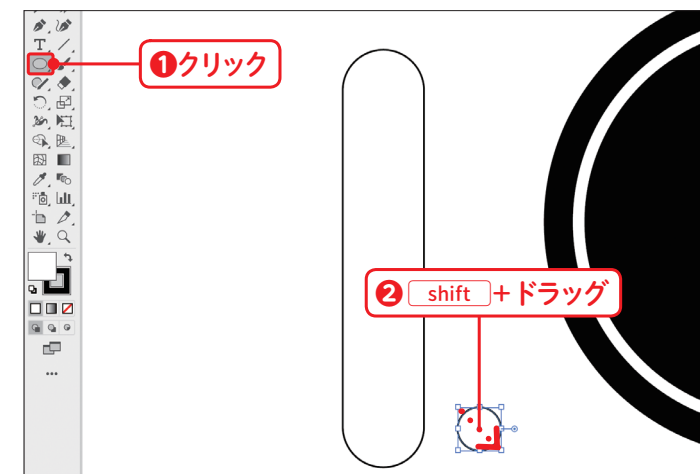
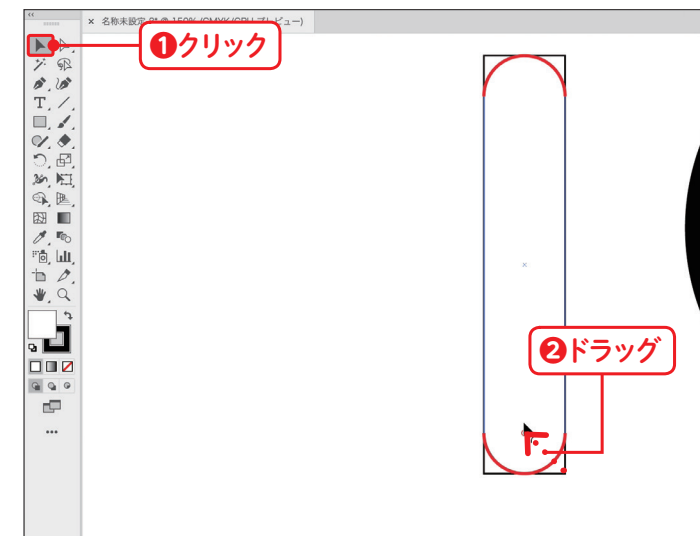
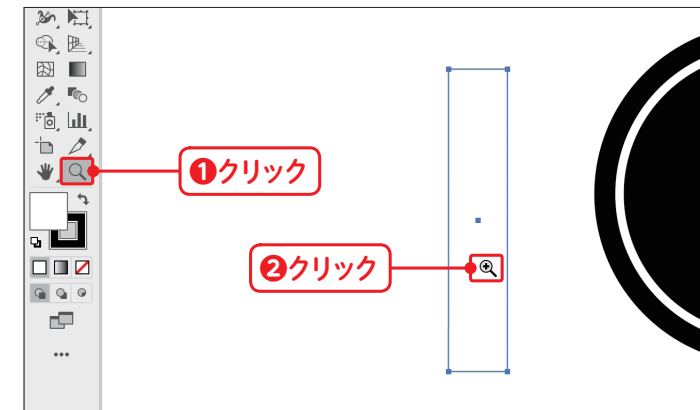
MEMO

前節の最後で[塗り]なし[線]白という設定にしたため、初期設定の[塗り]白[線]黒に戻します。



2 細長い長方形を描く

ツールパネルから[長方形]ツールをクリックし①、左上から右下にドラッグして②、図のような長方形を描きます。これは、フライパンの柄の部分になります。



3 [ズーム]ツールで画面を拡大する

長方形が描られました。このあと細かい作業を行うので、画面を拡大表示します。[ズーム]ツールをクリックし①、描いた長方形の上を1～2回クリックします②。

4 長方形の角を丸める

画面が拡大表示されました。[選択]ツールをクリックすると①、長方形の角の内側に目玉のようなアイコンが表示されます。どれか1つを内側に向けて止まるところまでドラッグします②。

MEMO

この目玉のようなアイコンは[ライブコーナーウィジェット]と呼ばれ、図形の角(コーナー)を丸くするために利用します。

5 小さな正円を描く

長方形の角が丸くなりました。次に、フライパンの柄に開いた小さな穴を表現するために、小さな正円を描きます。[楕円形]ツールをクリックし①、図を参考に、柄の幅の半分程度の大きさの正円を② shift キーを押しながらドラッグして描きます②。

Lesson

01

練習ファイル 0601a.jpg
完成ファイル 0601b.psd

写真の不要な部分を消去しよう

お気に入りの写真なのにゴミが写っていた、汚れを消したいなど、写真内の不要な部分を消去したい場合は多いでしょう。ここでは、そういった場合にぴったりのテクニックを学びます。

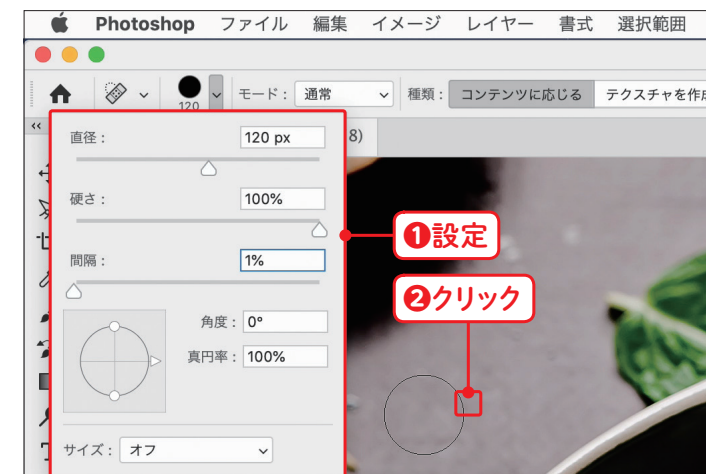


1 素材写真を開く

まずは、素材写真を開きます。P.14を参考に Photoshop を起動し、スタート画面の[開く]ボタンをクリックします①。練習ファイルのある「Chap 06」フォルダを指定し②、「0601a.jpg」を選択して③、[開く]ボタンをクリックします④。

2 [ズーム]ツールで画面を拡大する

写真「0601a.jpg」が開きました。ツールパネルから[ズーム]ツールをクリックし①、テーブルの上の唐辛子のあたりを2～3回クリックします②。



3 [スポット修復ブラシ]ツールを選ぶ

唐辛子や葉っぱが乗っているテーブルの周囲が拡大表示されました。ツールパネルから[スポット修復ブラシ]ツールをクリックします①。

4 ブラシサイズを変更する

[スポット修復ブラシ]ツールが選択され、マウスカーソルが円形になりました。このブラシの円のサイズを変更します。図を参考にオプションバーのブラシサイズのメニューをクリックします①。

5 ブラシの詳細を変更する

ブラシの詳細を設定するパネルが開きました。ブラシの詳細を以下のように設定します①。設定が終わったら、画面の何もない箇所をクリックします②。

直径	120px	角度	0%
硬さ	100%	真円率	100%
間隔	1%	サイズ	オフ

6

写真を編集しよう～Photoshop

Lesson

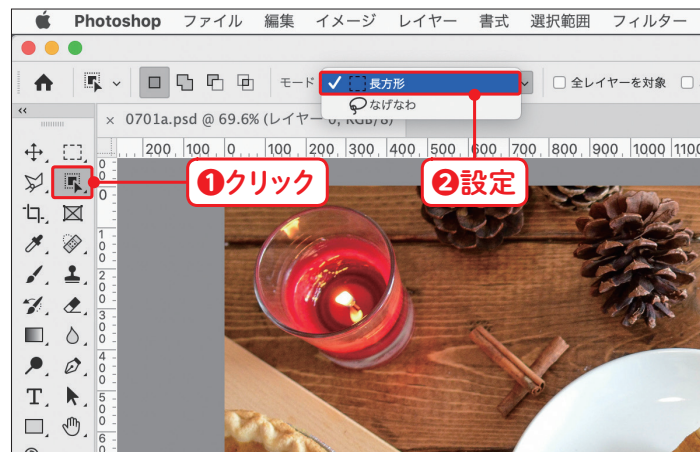
03

練習ファイル 0703a.psd

完成ファイル 0703b.psd

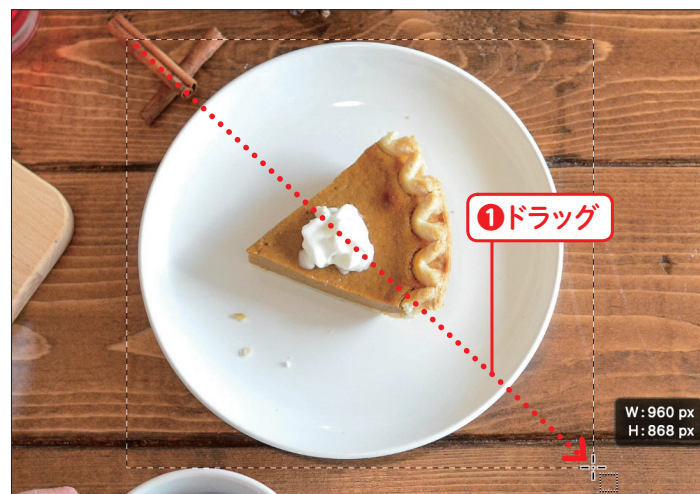
写真の一部分を逆向きにしよう

ここでは、写真の一部分を[オブジェクト選択]ツールで選択し、向きと大きさを変更します。これにより、選択した範囲のみを反転したり拡大したりすることができます。



1 [オブジェクト選択]ツールを選択する

ツールパネルから[オブジェクト選択]ツールをクリックし①、[モード]を[長方形]に設定します②。

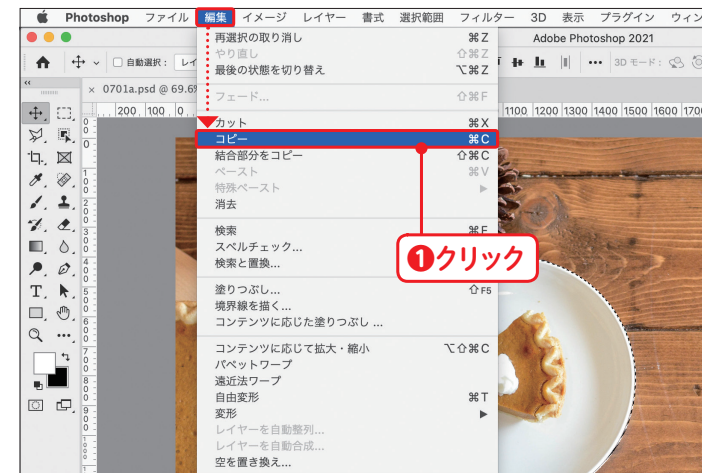


2 白いお皿を囲むように選択する

[オブジェクト選択]ツールの[長方形]モードが選択できました。白いお皿を囲むようにドラッグし①、お皿全体が選択範囲の中に入るようにします。

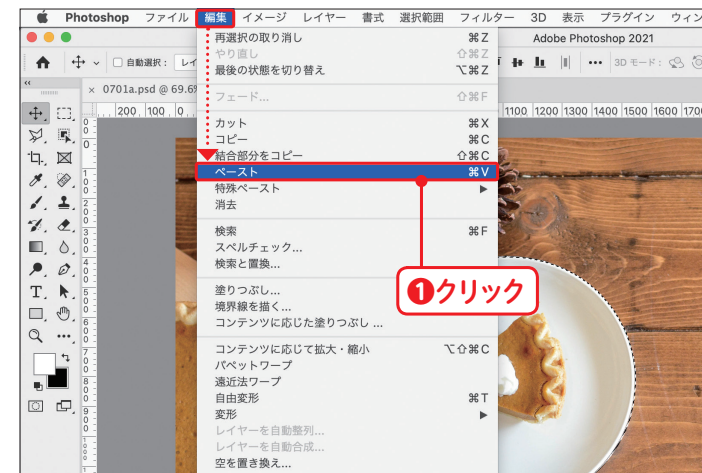
MEMO

選択に失敗した場合は、[選択範囲]メニュー→[選択を解除]の順にクリックして、最初からやり直してみましょう。



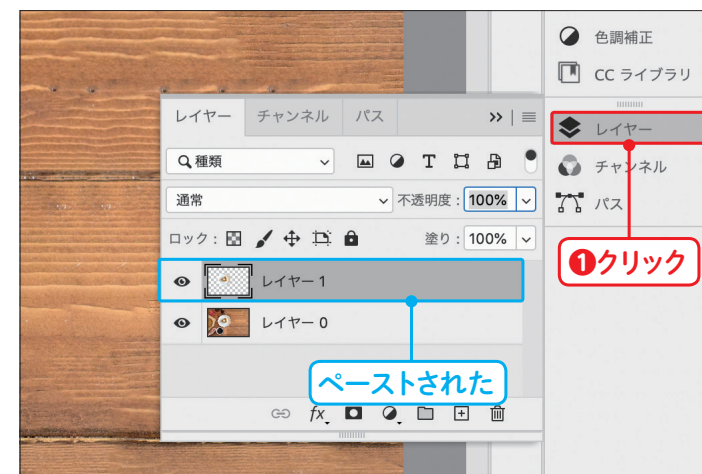
3 選択した部分をコピーする

長方形の選択範囲内の主要な被写体として、自動的に白いお皿全体が選択されました。[編集]メニュー→[コピー]の順にクリックします①。



4 コピーした部分をペーストする

選択範囲で囲まれた部分がコピーされました。[編集]メニュー→[ペースト]の順にクリックすると①、コピーされた部分が別のレイヤーとして同じ場所にペーストされます。



5 [レイヤー]パネルを開いて確認する

[レイヤー]パネルをクリックして開くと①、お皿の部分だけが「レイヤー 1」としてペーストされているのがわかります。このあと「レイヤー 1」を拡大縮小しても画質が劣化しないように、「スマートオブジェクト」という特別なレイヤーに変換していきます。

Lesson

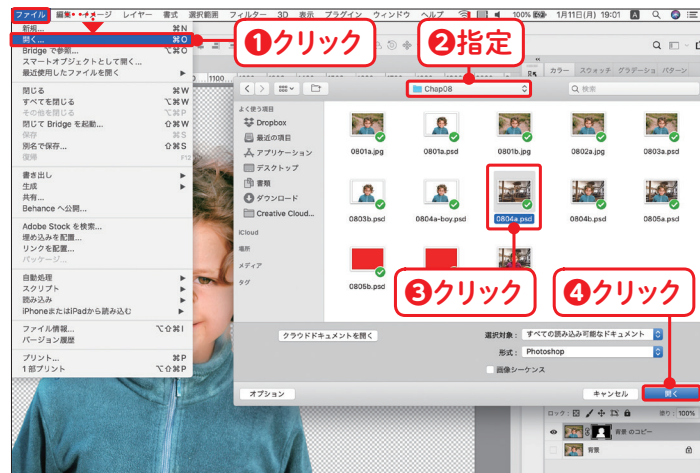
04

練習ファイル 0804a.psd

完成ファイル 0804b.psd

切り抜いた画像を別の写真に合成しよう

ここでは、切り抜いた画像を背景写真の上に重ねて合成する方法について解説します。少年の画像がうまく切り抜けていない場合は、サンプルファイルの「0804a-boy.psd」を使用してください。

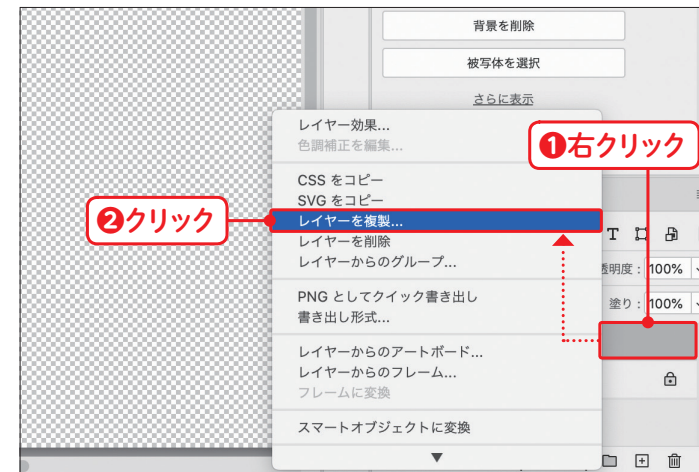


1 背景写真を開く

前節からの作業の続きです。背景になる写真を開きます。[ファイル]メニュー→[開く]の順にクリックし①、「Chap08」フォルダを指定し②、「0804a.psd」をクリックして③、[開く]ボタンをクリックします④。

2 切り抜いた画像の[レイヤー]パネルを開く

「0804a.psd」が開きました。画面上部のファイル名のタブ（ここでは「0801a.psd」）をクリックして①、少年の画像を表示します。[レイヤー]パネルが閉じている場合はアイコンまたはタブをクリックして②、パネルを開きます。

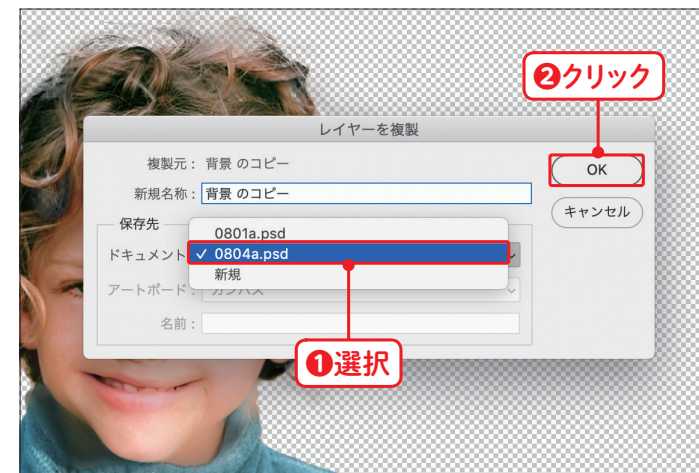


3 [背景のコピー]レイヤーを複製する

[レイヤー]パネルが開きました。[背景のコピー]レイヤーを右クリックし①、コンテキストメニューから[レイヤーを複製]をクリックします②。

MEMO

Macでは、右クリックのほか[control]キーを押しながらクリックすることでもコンテキストメニューが表示されます。

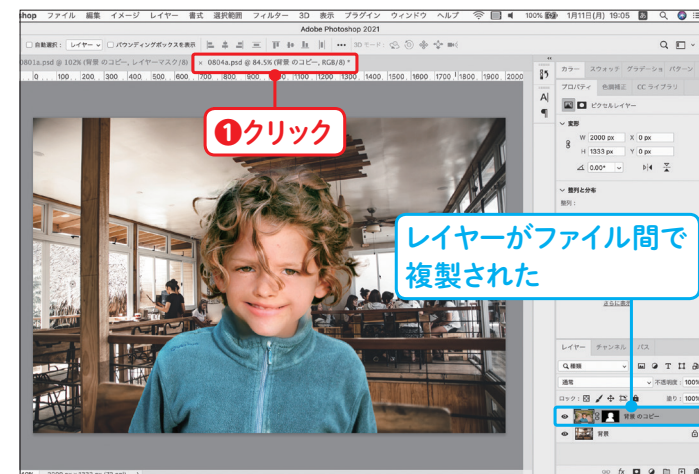


4 保存先を選択して[OK]をクリックする

[レイヤーを複製]ダイアログボックスが開きました。[保存先]の[ドキュメント]のドロップダウンメニューから[0804a.psd]（先ほど開いた背景写真）をクリックして選択し①、[OK]ボタンをクリックします②。

5 背景写真に少年の写真が合成された

画面上部のファイル名「0804a.psd」のタブをクリックします①。「0804a.psd」が表示され、切り抜かれた少年の写真が合成されていることがわかります。



Lesson

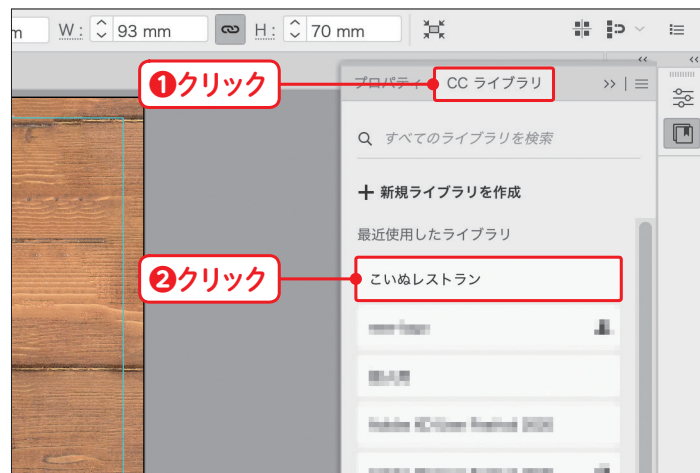
09

練習ファイル 0909a.ai

完成ファイル 0909b.ai

ロゴマークとイラストを配置しよう

ここでは、Illustratorで作成して[CCライブラリ]に登録しておいたロゴマークやイラストをレイアウトの中に配置する方法を学習しましょう。



1 [CCライブラリ] パネルを開く

画面右側にある[CCライブラリ]パネルのアイコンまたはタブをクリックして開き①、ドロップダウンメニューから「こいぬレストラン」を選択します②。



2 「ロゴタイプ」をドラッグ&ドロップする

「こいぬレストラン」ライブラリに登録されたグラフィックが表示されました。第4章で制作した「こいぬれすとらん」と書かれたロゴタイプを、アートボード上にドラッグ&ドロップします①。



3 ドラッグして大きさを決めて配置する

マウスカーソルの右下にサムネイルが表示された状態になりました。図を参考に、ケーキ皿の右上にロゴタイプが入るようにドラッグします①。



4 「マーク」と「イラスト」も配置する

ロゴタイプが配置されました。同様の手順で、第5章で制作したフライパン型のマークと、第3章で制作したキャラクターのイラストを図のような位置にドラッグして配置します①。

MEMO

配置したあとにサイズ変更をする方法はP.42を参考にしてください。



5 Illustratorで制作したパーツが配置された

Illustratorで作成した3つのパーツがそれぞれの場所に配置されました。